

タケダ・赤い羽根

広域避難者
支援プログラム

タケダ・赤い羽根広域避難者
支援プログラムの助成を受け
て発行しています。

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

秋は
もうすぐ
9月号

福玉便り

ふく たま だより

2017年9月1日発行

通巻 第64号

発行:『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会

協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部 印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

連絡先:NPO法人埼玉広域避難者支援センター 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤 6-4-21 ときわ会館4F TEL080-4331-0290

福玉交流サロンin所沢

9月28日(木) 11:00~14:00

場所:新所沢公民館 1F料理講習室(所沢市緑町1-8-3)

心をゆるめて美味しい時間

10:30 受付開始 11:00 開会

11:10 作りましょう! 12:00 楽しいランチタイム♪ おいしい料理を食べながら、楽しくおしゃべりしましょう! 13:30 お片付けタイム

みんなで美味しい物を笑いながら食べたいと思い企画しました。いつも参加くださっている方も、まだ参加したことがない方も、区域に関係なく、心をゆるめにいらしてください。支援員一同、お待ちしております。

【参加費】 無料です

【持ち物】 エプロンをご持参ください

【当日の連絡先】080-8764-7927

【参加申込】9月22日(金)までに下記の事務所までお電話ください。先着30名

福島県復興支援員 埼玉事務所 048-814-1111

今回は、下記の原子力損害賠償・廃炉機等支援機構による相談会とタイアップすることになりました。

2017年度第2回 住宅説明会



日時:10月12日(木)

10:00 12:00時

場所:浦和コミュニティセンター第2集会室
(JR浦和駅東口前パルコ10階)

埼玉県の県営住宅の自主避難者枠について、県のご担当の方に説明をしていただきます。申し込みに関する細かい質問・相談についてや、「こうしてほしい」という要望など、直接話せる貴重な機会です。是非、ご参加ください。

●お申込み、お問い合わせ

埼玉広域避難者支援センター

080-4331-0290 か fukutama@431279.com まで。

教育相談会を開催します

9月8日(金)10時-12時

●ネット 21 大宮

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 2 丁目 370 興陽ビル 2F TEL 048-729-5052

各地の交流会や懇談会の中で、「埼玉県の受験ってどうなっているの?」「埼玉県の教育情報はどこに行けばわかるの?」というご意見をよく耳にします。

そんな疑問やお悩みを解決するために、中学生のみならず、保護者の皆様を対象に、「教育相談会」を開催します。

今回は、埼玉県内の高校の先生と高校受験の事情に通じている大学生からお話をうかがいます。

また、福島県から避難しているお母さんからお子さんの受験や進学の体験談を聞かせていただきます。

残暑厳しい時期ですが、多くの方のご参加をお待ちしております。

*保育の必要な方はお申し込みください。

●お申込み、お問い合わせ

埼玉広域避難者支援センター

080-4331-0290 か

fukutama@431279.com まで。



原子力損害賠償に関する無料個別相談会のご案内

新所沢公民館

9月28日(木)13:00~16:00【1組60分ご相談いただけます】

住居確保損害における賠償上限額とは何ですか?実際にどこまでの費用が賠償されますか?埼玉県ですでに住居を購入しましたが、元の住居の修繕費用は出ますか?老人ホームか復興住宅に入居を考えています。どこまでの費用を出してもらえますか?息子たちと世帯を分けてそれぞれが住居を確保したいのですが...大丈夫ですか?

専門の弁護士がご相談をお受けいたします。

〔対象〕原発事故で被害を受けたすべての皆様

★ 個別相談の申し込みは、事前予約をお願い致します。

0120-330-540 予約受付時間 9:30~17:00(土日祝日も受付)

復興支援員さんから

浪江町復興支援員埼玉駐在の主催による
「屋形船交流会」

今回初めて、浪江町復興支援員埼玉駐在の主催による「屋形船交流会」を実施しました。畳スタイルではなく、椅子とテーブルの洋風クルージングスタイルです。浪江町の方28名と、スタッフ8名の合計36名で、ワイワイと賑やかに開催されました。

畳スタイルのようにてんぷらの食べ放題はありませんが、洋風オードブルに肉料理、魚料理、赤ワイン、白ワイン、洋酒も飲み放題で、背もたれのある椅子は座り心地が良く、「楽だね」と、皆さんくつろいだ様子で楽しまれていました。お台場に停泊すると、展望デッキで夜景の見学、心地よい海風にあおられて、町の方向土のお話にも花が咲いておりました。また

企画したいと思います。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

（浪江町復興支援員
埼玉駐在 佐藤淳一）



今年も開催します！

福玉バーベキュー大会 In日高

“埼玉S級グルメ店”に認定されたお店で、最高品位の「豚肉」をみんなで楽しく食べませんか？

- 開催日 2017年10月28日(土)
集合時間 午前10時~受付開始
10時20分~10時40分 開会イベント
10時40分~12時30分 バーベキュー交流会
- 会場 レストランサイボク
埼玉県日高市下大谷沢546(電話042-985-4272)
- 参加費
大人(高校生以上)500円 *中学生以下 無料
※参加費にはビール・アルコールの料金は含まれていません。
- 募集 150名(先着順)
- 受付開始 2017年9月19日(火) 午前10時から
- 申込み先 埼玉労福協(一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会)・サイボクBBQ係

先着
150名様

《福玉BBQバスのご案内》

今年も東武越谷駅からさいたま新都心経由で福玉バスが走ります。

☆定員 40人(先着順)

☆料金 大人1,000円 中学生以下無料

※バス発着場所は、お申込み時にご確認下さい。



生活協同組合パルシステム埼玉 東日本大震災復興支援助成金 応募団体募集

「パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金」は、埼玉県内で東日本大震災復興のために活動している！これから活動を始める！という団体を応援します！

○東日本大震災により、埼玉県に避難している方たちをつなげたい／被災地の子どもたちに埼玉県で遊んでもらいたい／埼玉県に避難されている方たちに情報を発信したい／東日本大震災の被災地と埼玉県をつなげて交流したい……パルシステム埼玉東日本大震災復興支援助成金は、東日本大震災による被災地及び被災者への支援を行う団体に対して、パルシステム埼玉が社会貢献活動の一つとして資金面で支援していく制度です。

○応募期間 2017年9月1日(金)~10月31日(火)

※当日消印有効

○助成対象期間 2018年4月1日から2019年3月31日までの1年間に実施を計画している活動

○上限額は1件50万円

○この助成を受けた団体による応募は連続2回までとします。

○応募をお考えの団体の方は、申込み説明会にご出席ください。→ 10月14日(土)10時~12時 ぱる★てらす(浦和駅東口徒歩5分)

○問い合わせ; パルシステム埼玉 まちづくり・福祉推進課048-829-9861

「全国避難者情報システム」への登録確認を!

最近、「これまで届いていた行政からのおたよりが届かなくなった」というお問い合わせをいただくことがあります。借上住宅から退去した、無償から有償に切り替わった、自宅を購入した、という方が、受け入れ自治体(埼玉県内の市町村)の対応によっては、避難者登録から外されてしまっているようなのです。

「全国避難者情報システム」とは、避難してきた方ご自身が、避難した自治体の窓口に「避難してきています」という個人情報(氏名、生年月日、性別、避難前の住所、避難先の情報)を登録することによって、避難元の自治体から様々な情報(税や保険料の減免、猶予、期限延長のお知らせ、避難元自治体の広報等)を受けられるしくみです。

本来、避難者のみなさんご自身が「借上住宅から退去しても『避難状態』である」という場合、本人の同意無しに登録から外されることはないことになっていますが、残念ながら誤った事務処理をされているケースもあるようなのです。

ご心配な方は、受け入れ自治体(いまお住まいの市町村)の窓口に問い合わせをしてみてください。問い合わせ窓口が不明な方は、お住まいの市町村の代表番号に電話をして「東日本大震災、原発事故によって避難しているが、避難者情報システムに登録されたままになっているかどうか、知りたいので、担当課に つないでください」と言えば、窓口の方につないでもらうことが可能です。避難元からの情報を受け続けたいという方は、ぜひ、ご確認ください。

(編集部/吉田)

3・11甲状腺がん子ども基金



3.11甲状腺がん子ども基金
3.11 Children's Fund for Thyroid Cancer

福島県が実施している

「県民健康調査」の検討委員会です。今年6月5日までに発表された小児甲状腺がんの報告数は、191人(甲状腺がんの悪性または悪性疑い)にのぼります。告知された子どもと家族は孤立し、診察や通院費用などで経済的に困窮しがちな状況があるようです。そういった子どもたちに多様かつ継続的に甲状腺がんの子どもたちを支援するために設立された「3・11甲状腺がん子ども基金」では、2011年の原発事故以降に甲状腺がんの手術を受けた人および穿刺細胞診において甲状腺がんまたはその疑いと診断された25才以下(*年齢は2017年4月1日時点)の人で、事故以降、以下の地域に在住していた人に、一律10万円の療養費の給付をしています(アイトープ治療の必要があると診断された人には10万円を追加給付)。

居住地域: 岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県、山梨県、長野県

申請期間(第二期)は2017年4月1日~2018年3月31日(第三期は改めて発表)。詳細を知りたい方は、ホームページをご覧ください。「3・11甲状腺がん子ども基金」で検索するか、アドレスバーに下記アドレスを入力してください。

<http://www.311किन.org/benefit>

「3・11後の子どもと健康」 ―保健室と地域に何ができるか?―

幅広い地域に放射性物質が拡散された原発事故。でも、この6年間、「福島県」による検診は行われているものの、「国」による検診は一切行われていません。放射能汚染は「福島県」だけではなく、東北、関東圏にも及びました。こうした汚染の影響に対し、住民、学校関係者は一体何をすべきなのか――。実際に行われた、養護教諭、市民、自治体の取り組みへの、綿密な調査・取材から、本来必要なことを正面から問う一冊です。子どもの健康を願う母親の思いは、どの地域に住んでいても同じ。地域や住民は、今後何ができるのか、考えるためにもぜひ一読ください。

~~~~~

「3・11後の子どもと健康」保健室と地域に何ができるか? (若波ブックレット)」

著者: 大谷尚子・吉田由布子・白石草 著  
価格: 660円(税別)

目次

- 第1章 原発事故後、これまでと同じでいいの?
- 第2章 無責任な国を前に、動き出す地域の取組み
- 第3章 学校と地域何ができるか
- 第4章 子どもにも真摯に向き合うことから
- 5つの視点





**秩父市男女共同参画週間講演会  
「経験者が語る東日本大震災とその後」報告**

6月25日(日)、秩父市の歴史文化伝承館において、さいがい・つながりカフェに参加している避難者の方から東日本大震災の経験と現状を聞くという会が開催されました。埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたまの事業コーディネーター

体験を伝えました。この講演会を担当した市民生活課の新井さんから当日の感想と挨拶を送ってもらいましたので、ご紹介いたします。

さいがい・つながりカフェの皆さんのお話は、報道で見たり聞いたりするよりも、被災時の状況や避難先での困難など、参加者の心に大変響くものでした。涙を流して聞いていた方もおられましたし、ご自身の防災への参考になったと、ご感想も多数いただきました。東日本大震災から6年以上経ちましたが、被災者の方々が抱えておられる問題はまだまだ多くある事を知る、大変良い機会となりました。そのような中でも、直接に伝えていく機会、出会うの場が広がっていくことを期待したいですね。(編集部・薄井)

**ひろば 避難中の皆さんのお伝えするコーナーです。**

**吉田クニ子さん**

川内村から  
さいたま市に避難

川内村上川内で生まれ育ちましたが、夫が会社員で、転勤が多かったため、各地で暮らししました。夫が七年前に亡くなり、父も亡くなったので、川内村の畑や山で名産や名物があった方がよいと考えて、和紙を作っているところ、思い立ち、山に楮を植林しようとして整備し始めたところ、地震と原発事故が起こりました。三か月間避難して、その後、村に戻りました。植林の計

画も中止、ログハウス建設するための木々が今も積みあがったままです。戻ったものの、冬は寒いし、重い物も大変だし、女一人では不安だということ、四年半前にさいたま市の息子のところに避難してきました。

仕事をしようと思えば、With You さいたまの就業支援に相談したところ、今の仕事が見つかりました。そこで、以前さいたま市で暮らしていた時の友人に再会してびっくり。石巻で暮らしていた彼女も津波で被災して、さいたま市に避難しており、「さいが

い・つながりカフェ」に参加していたのでした。それから私も参加するようになりました。

川内村は解除が早かったため、私は自主避難者ということになります。当初は、自主避難と帰還困難区域からの強制避難との違いが大きく、カフェに参加していても、自分は「避難者」ではないのかなと思うこともありました。その後、二年半前に自宅で病気になる、異変に気づいた息子が早く救急病院に運んでくれました。一晩意識不明の状態でしたが、今はほとんど後遺症

も残っていません。「奇跡の3%だったね」と先生から言ってもらえました。

退院してから、さいがい・つながりカフェに再び参加しています。その間に、解除も進み、今はもう自主避難／強制避難という違いにこだわる雰囲気はありません。それぞれ大変な思いをしたので、愚痴の一つも言いたくもありませんが、福島県から避難してきた者同士、助け合っていければと思います。外で福島弁が聞こえると、私はつい声をかけます。同じ団地には福島からの方が数人おられるので、訪

問することもありません。誰と会うこともなく暮らしている方がまだまだおられるのではないかと気がかりです。

さいたままでの生活は移動が楽だし、病院もあるし、良い点もあります。それでも、村の生活を懐しく思い出します。特に四季折々の花々や食べ物ですね。何が咲いているだろうか、何が生っているだろうか、フキ、わらびにたけのこか。たけのこは蹴飛ばしとけ」というぐらいたくさん生っていて。プラムやスモモは酢と砂糖に漬けてジュースにして。今の季節は太い胡瓜を味噌汁に入れて食べたもので

す。さいたまでは手に入らない味ですね。

六年以上も経つと、川内村の自宅の周りには知らない木や花が生えています。鍵を閉めていたはずなのに、戸が開いており、内は荒らされています。物置にも色々入っていた

## 渡部まゆみさん

大熊町から春日部市に避難

11日、自分の母親と夫の母を連れて町のスポーツセンターに避難しました。寒さもあり、高齢の親たちにとっては辛い環境で、これでは病気になると思いました。翌朝、西に逃げてくれと指示を受けたので、三春で一泊し、関東に住む娘や義理の姉に連絡をして、大

のには、今は何もありません。農家はなんとか田を守っていましたが、酪農はまだ復活していません。何代も続いていた生活が一旦切れると、元に戻るのには難しいと感じます。解除後、地区住民で遺跡のある場所を真っ先に立て直しました。

た。大熊の家は大工だった夫が建てた家でしたが、秋には立て壊しになります。中間貯蔵施設予定地内にあり、いつ解決するかわかりません。子どもや孫に負担をかけてはいけない、自分の代で決めなくてはと思つて引越しました。お墓もこちらに移す予定です。

た。家の周囲は変わつても、思出深い場所がよりどころとして残っていけば、県外に住む私たちも故郷への想いを失わずにすむと思います。今回、秩父旅行のつもりで気軽に参加したら、いつの間にか自分が話すことに。恩返しに少

一番下の孫は七歳ですから、大熊も、海遊びも、おじいちゃんも知りません。夫は震災の前年に亡くなりました。一周忌をどうしようかと考えている時の震災で、こちらに来て、大熊のお寺とも連絡を取って七回忌も済ませました。母は八七歳になり、身の廻りの事は自分でできます。しかし、春日部では一度も玄関から出ず、散歩もしません。大熊

してもなれば、と思つて話しました。一人一人の事情や体験は異なっているので、色々な方の話を聞いてもらえる機会があればいいと思います。各地で災害が起るたびに、被災・避難した方々のことが気にかかります。自分が体験した

にも一度も帰っていません。何かあつて私に迷惑をかけてはいけないと思つて我慢しているのかもしれない。私は二年前に胆石で入院、その後、子宮体がん入院、手術をしました。空き時間で折り紙を始めました。同室の人と親しくなり、同じ病棟の人たちに折り紙で作った小箱をあげたりしながら励まし合いました。退院後、検査も一通り終わつてから、春日部カフェに参加しました。その前からチラシは見えていたのですが、入院生活の中で人と触れ合うことの大切さを痛感したことがきっかけになりました。その後、さいがい・つながりカフェにも行くようになり、折り紙を教えたり、教わったり、楽しく過ごしています。大熊からの避難者の会に参加し

からこそ、何かできることはなにかと考えます。時間が経つうちに、さいがい・つながりカフェでは「避難者」と「支援者」という違いも感じない関係になつてきています。皆で一緒にこの活動を拓げていけたらいいなと思つています。

たり、同級生たちと旅行するのも楽しみです。これからも各地で頑張っている避難者の方々と交流したいですね。また入院・手術の予定がありませんが、病気の事は先生にお任せするしかないので悲観していません。病気の友だちもたくさんできました。今回の秩父市での講演会では、避難の際の体験を伝えました。ラジオをこっそり小さな音で聞いていたら、周りから「もっと大きくして」と言われたこと。情報が全く入ってこない中、ラジオだけが頼りでした。食べ物配給も混乱していました。私は通勤バッグに軽食やお菓子を入れておくのがならいとなつていて、避難所にもそのバッグを持っていたので、自分ももらったパンを他の人に譲ることが



ンに分  
散。二年  
後に六人  
で春日部  
に引越  
しまし

た。大熊の自宅から1キロもないところにある海渡神社には春秋のお彼岸の時にいきますが、防護服を着なくてはなりません。ミーが唯一、部落で残る場所になります。つい最近、下の孫が「ママの家を見たい」と言いました。見れないし、無くなつてしまふんだよ、おと

うの建てた家が。そう自分をつぶやいて胸が痛みました。孫たちも帰れない場所になりました。

た。大熊の自宅から1キロもないところにある海渡神社には春秋のお彼岸の時にいきますが、防護服を着なくてはなりません。ミーが唯一、部落で残る場所になります。つい最近、下の孫が「ママの家を見たい」と言いました。見れないし、無くなつてしまふんだよ、おと

うの建てた家が。そう自分をつぶやいて胸が痛みました。孫たちも帰れない場所になりました。

## あなたの手作りの逸品を「ふくしま避難者交流会」で展示しませんか。

福島県では、例年、首都圏に避難されている方々の交流・情報提供の場として、「ふくしま避難者交流会」を開催しておりますが、今年度は、避難されている方々の手作りの逸品を募集し、会場内に展示したいと考えております。

皆さんが丹精込めて作られた作品で、交流会の会場を彩りたいと思いますので、皆様からの応募をお待ちしております。ご不明な点は下記申込先までお問い合わせください。

- 1 募集する展示品 皆さんが手作りした作品（パッチワーク、陶芸、絵画、小物など）※運搬や展示スペースの都合もありますので、持ち運びできるような大きさで、お一人あたり一品をお願いします。
- 2 申込先 福島県避難者支援課 埼玉駐在 三瓶 080-5737-3011 又は福島県復興支援員埼玉事務所 電話 048-814-1111
- 3 申込期日 平成29年11月17日(金)

### ●ふくしま避難者交流会

日時 平成29年12月23日(土・祝)14:00~  
場所 東京国際フォーラム ホールD5

※同日、東京国際フォーラムでは、ふくしまの魅力を感じることができるイベント「ふくしま大交流フェア」が開催されます。ふくしまの美味しい物や特産品が展示、販売されますので、ぜひ一緒に足を運んでみてください。



館内に掲載されている皆さまへ

【日時】10月1日(日)  
10:30~15:30

【会場】都立篠崎公園

昨年に引き続き、今年も東京や関東地域に避難している方と支援

者による大交流会を行います！。秋の空気の中で、一歩踏み出して、つながりを広げてみませんか。各地から送迎バスを手配させていただく予定です。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

出展団体による 食事コーナー豚汁、フランクフルト、ホットケーキ(予定)／避難者支援に関する 専門家相談も受けられます！／ステージでは福島の 郷土芸能(音頭など)を予定！／子どもたちも思いっきり遊べるよ！！

問い合わせ:広域避難者交流会実行委員会 事務局 (広域避難者支援連絡会 in 東京)、東京ボランティア・市民活動センター 電話 03-3235-1171

## 東日本大震災映画上映会

### 「避難指示、解除」(監督:伊藤義将)

避難指示が解除された浪江町・富岡町で、地元の方々の証言や「東日本大震災に咲く会ひまわり」メンバーの現在を撮影しました。

- 日時: 2017年9月16日(土)  
13:30~ 第一部上映会(浪江町・富岡町)  
14:30~ 第二部対談(伊藤監督を迎えて)  
15:00~ 第三部懇談会(軽食有・持ち寄り歓迎)

- 場所: 上尾シラコバト団地第一集会室  
埼玉県上尾市大字上360番地

- 入場無料/募金箱有 駐車場有

- 問合せ: 048-607-6723(シラコバト団地自治会)、080-3091-6215(東日本大震災に咲く会ひまわり 橘)

### ●作品紹介

上映する「避難指示・解除」は、今年、福島第一原子力発電所の事故による避難指示を解除された福島県富岡町・浪江町を、本会の会長・橘光顕と訪れ、撮影したものです。出演して下さったのは、福島県富岡町から上尾市に避難し、現在、福島県大玉村の仮設住宅に暮らす方、橘本人、福島県相馬市に避難しながら幼稚園の再開を準備する浪江町のアスナロ幼稚園の先生方です。それぞれご自宅や幼稚園を案内していただき、現状や今後について、また今の想いを語ってくれました。

避難している方々は、避難解除によって選択を迫られています。地域に戻るにせよ戻らないにせよ、それぞれに様々な思いがあることを、見て感じていただけたらと思っています。

## 秋を五感でアートしよう！

### ～ベニアカ編～

2017年10月28日(土)開催(雨天決行)

- 集合時間: 8:45《集合場所: 武蔵野線南越谷駅南口》

- 会場: さいたま市見沼区ベニアカ畑  
8:45 出発/9:30「ベニアカ畑」にてさつまいも掘り/11:30 昼食 ※ベニアカ農家さん宅にてお弁当・農家奥様のベニアカ天ぷら・お茶をご用意! /13:00 アートワーク「ベニアカを描こう」講師「臨床美術 彩球」/15:00 終了/15:45 南越谷駅到着・解散

- 締め切り: 10月18日(水) 定員20名

- 申込先:

特定非営利活動法人 日本臨床美術協会 事務局 電話 050-3735-2028(平日9:30~18:30)





## 復興支援員さんから

# 久方ぶりの相馬野馬追!

7月29〜30日、福島県復興支援員埼玉事務所主催の「相馬野馬追本祭り観覧ツアー」に同行しました。両日とも埼玉の酷暑とは違い、やや曇天の野馬追日和でした。

震災まで南相馬市小高区に住み、現職中は毎夏、野馬追裏方スタッフとして従事してきた者としては、一種の感慨を抱き、本祭りハイライトの約500騎からなる騎馬行列を有料観覧席から観覧しました。祭場地・雲雀ヶ原入口直近の場所のため行列が立ち止まり、伝令役の上司への口



上、法螺貝の吹鳴、陣太鼓、「参れ、参れ」の勇ましい掛け声に、その都度、拍手・歓声が寄せられました。

その後、結構距離のある祭場地観覧席へ移動し、旗指物を背にした若武者による甲冑競馬となり、発馬機もなく何馬身も差が開く競馬を楽しみました。途中何度かハプニング「放馬」もあり、観衆の笑いを誘いました。そして、最終イベント神旗争奪戦を数回観覧し、見事ご神旗を獲得し意気揚々と羊腸の坂を上りきる若武者に拍手を送りながら、帰路につきました。

初めての方は、一千余年の伝統を誇り、東北に夏の到来を告げ、夏草を蹴散らす「相馬野馬追」、そして荒ぶる相馬武士(ものふ)の心意気をすっかり堪能された事でしょう!

(富岡町復興支援員 鈴木直清)

# 東京サマーランド

7月22日(土)、西部第4地域労働協が主催した『サマーイベント』に招待(優待)を受け、避難者110名が東京サマーランドに集いました。ここカフェ@川越からも5家族17名で参加させて頂きました。子供たちはもちろんのこと、パパ、ママも毎年とっても楽しみにしているイベントです。

夏休みに入っただけでもあり、「あつ〜い夏を乗り越えるためにも、プールで楽しんで頑張るぞー!」という意気込みで遊びました。

「去年は乗れなかったアトラクションに今年は乗れたー!」

「仕事終わりで眠いけど子供たちと楽しくプールで遊べたー!」

「また4ヶ月の娘と一緒にアトラクションに乗って沢山笑ったら吹っ飛んだー!」

そんな喜びの声が、みんなから聞けてとても楽しかったです。

また来年参加したいです、ありがとうございました。

(ここカフェ@川越 太田吉子)



## 『福玉、便り』編集委員会

連絡先: NPO法人埼玉広域避難者支援センター  
電話080-4331-0290  
メール:fukutama@431279.com

こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をお寄せください。

福玉便りの全バックナンバーのデータ、最新情報はNPO法人埼玉広域避難者支援センターのホームページにあります。→  
<http://fukutama.org/>

## 福玉便りのお届け作業を一緒にやってくさる方、大募集!

9月28日(木) 13:30-16:00ごろ

場所: ときわ会館1F 福島県外避難者相談センター 奥

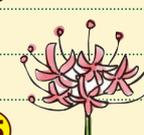
印刷などの都合で日程が変更になることがあります。できれば、ご一報ご確認いただければ幸いです。080-4331-0290まで



**29 鳩のつどい**  
 月2回 10:00 ~12:00  
 JAXA鳩山宿舎108号室  
 ☎049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

**32 福玉・謡曲の会**  
 9/9(土)10:30~12:00  
 With Youさいたま和室  
 ☎090-6128-1948(小林さん)

**33 つながり**  
 毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

1日(金)  
 2日(土) **8**  
 3日(日)  
 4日(月)   
 5日(火)  
 6日(水) **14**  
 7日(木) **3**  
 8日(金)  
 9日(土) **32**  
 10日(日) **27**  
 11日(月) **1**   
 12日(火)  
 13日(水)  
 14日(木) **19**  
 15日(金)  
 16日(土) **8** **4**  
 17日(日) **5** **15**  
 18日(月)  
 19日(火)  
 20日(水) **18**  
 21日(木) **1**  
 22日(金)  
 23日(土)   
 24日(日) **25**  
 25日(月)  
 26日(火) **福玉便り発送**  
 13:30 ~  
 27日(水)  
 28日(木) **19** ★  
 29日(金)  
 30日(土) 

**15 ひだまり広場**  
 9/17(日)  
 12:30~16:30 参加費無料  
 ほっと越谷(北越谷駅東口1分)  
 ☎090-6456-5497(今野さん)

**16 あゆみの会**  
 越谷市 ☎090-9425-2001(石上さん)

**17 つながりの会**  
 東北復興支援販売  
 草加市物産・観光情報センター  
 ☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

**18 ひまわりの会**  
 9/20(水) 川越散策 詳しくは  
 島田まで  
 10/18(水) 交流会10:00~(午後  
 さるぼぼ作り、申込必要)  
 やすらぎ会館  
 ☎080-5431-0123(島田さん・留守電)

**19 さいがい・  
つながりカフェ**  
 月2回木曜日11:00~15:00  
 9/14(木)・9/28(木)・10/12(木)・10/26(木)  
 With You さいたま 4F 和室  
 (埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)  
 04さいがい・つながりカフェ ☎048-601-3111、tu-  
 nagari.saitama@gmail.com

**22 浪江のしゃべり場**  
 浪江町の復興支援員が常駐していま  
 す。お気軽に遊びに来てください。  
 月曜日~金曜日10:00~17:00  
 浪江町復興支援員 埼玉事務所  
 さいたま市 ☎048-833-8731(埼玉労協)

**23 和光3・11  
つながりカフェ**  
 ☎048-452-7606(和光市ボランティアセンター)

**24 新座さいがい  
つながりカフェ**  
 新座市 ☎090-2402-9155(谷森さん)

**25 青空あおぞら**  
 9/24(日) 13:30~16:00  
 新所沢公民館(お子様OK! 法律相  
 談可)  
 所沢市 ☎048-829-7400(SSN)

**26 お茶飲み交流会**  
 隔月1回 10:00 ~12:30  
 ☎049-251-2711(富士見市安心安全課  
 梶田さん)

**27 おあがんんしよ**  
 9/10(日) 定例サロン フクトピア  
 10/15(日) 秩父地方バスツアー  
 ☎090-5345-8408(松館さん)

**28 ここカフェ@川越**  
 ☎070-5594-0053(鈴木さん)

**4 加須ふれあい  
センター**  
 ふれあい食堂月~金の毎日(11時  
 ~13時は日替わり定食400円、13  
 時から無料カフェ)  
 9/16(土)ふれあいた市(夕食と演  
 奏)16:30~19:30  
 加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

**5 すくすくのあそび広場**  
 9/17(日)・10/15(日)あそび広場  
 10:00~14:00 不動岡公民館  
 毎週木曜 中高生勉強会  
 17:00~19:00 市民プラザかぞ  
 ☎090-2411-8598(戸恒さん)

**6 負けねっちゃきりり**  
 石巻から伊奈町に避難されている高橋さん  
 が呼びかけています。どなたでもどうぞ。  
 伊奈町 ☎090-7244-9267(高橋さん)

**7 向原団地被災者の会**  
 時々交流会しながら、つながりて行き  
 ましょう(\*^o^\*)/ (^-^-\*)  
 上尾市 ☎080-6044-2922(富永さん)

**8 東日本大震災に咲く会  
ひまわり**  
 9/2(土)・10/7(土) 定例会合  
 10:00~12:00  
 9/16(土) 映画上映会  
 13:30~16:00  
 シラコバト団地第一集会所  
 上尾市 ☎048-607-6723(団地自治会事務  
 所)・☎080-3091-6215(橋さん)

**10 くまがや結の会**熊谷市  
 090-7661-9236(林崎さん)

**11 羽生つながりカフェ**  
 羽生市 ☎080-5532-7380(薄井さん)

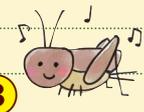
**12 お茶っこふるさと会**  
 久喜市 ☎090-6855-7140(木幡さん)

**13 杉戸元気会  
つつじの里サロン**  
 ☎0480-33-3455(佐藤さん)

**14 春日部つながりカフェ**  
 9/6(水) 夏の芋煮会  
 13:30~16:00 コーププラザ春  
 日部2Fキッチンルーム(エプロ  
 ン持参、法律相談可能)  
 ☎048-829-7400(SSN)

**1 ぼろろんの時間**  
 9/11(月) ランチ交流会  
 11:00に大宮駅集合  
 ☎070-5594-0053(鈴木さん)

10月

1日(日)  
 2日(月)  
 3日(火)  
 4日(水)   
 5日(木) **3**  
 6日(金)  
 7日(土) **8**  
 8日(日)  
 9日(月)  
 10日(火)   
 11日(水)  
 12日(木) **19**  
 13日(金)  
 14日(土)  
 15日(日) **27** **5**  
 16日(月)  
 17日(火)  
 18日(水) **18**  
 19日(木)  
 20日(金)   
 21日(土)  
 22日(日)  
 23日(月)  
 24日(火)  
 25日(水)  
 26日(木) **19**  
 27日(金)  
 28日(土) ★   
 29日(日)  
 30日(月)  
 31日(火)

**1 双葉町民による  
ボランティアカフェ**  
 9/21(木)  
 10:00~15:00  
 (法律・心の相談可能)  
 いきいきサポートセンター  
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 加須市騎西501-13 ☎048-829-7400 SSN

**3 双葉町老人クラブ女性会  
&さいがいつながりカフェ**  
 9/7(木)・10/5(木)10:00~12:00  
 いきいきサポートセンター  
 (双葉町社会福祉協議会 加須事務所)  
 ☎080-5532-7380(薄井さん)

こちらのサイトにも情報があります。  
<http://431279.com/>  
 (SSN震災支援ネットワーク埼玉)